

2022年6月22日

ウェザーニューズ、「猛暑見解 2022」を発表
全国的に平年より暑い夏、ダブル高気圧で猛暑に
～暑さのピークは7月後半と8月後半、西日本と東日本では厳しい残暑～

株式会社ウェザーニューズ(本社:千葉市美浜区、代表取締役社長:草開 千仁)は、「猛暑見解 2022」を本日発表しました。今年の夏(7月～9月)の気温は、広範囲で平年より高く、全国的に平年より暑い夏になりそうです。エリア別では、沖縄で平年並から高く、西日本から北日本にかけては平年より高い傾向です。暑さのピークは7月後半と8月後半で、太平洋高気圧とチベット高気圧の張り出しが重なるタイミングでは猛暑となる見込みです。今年は7月中旬までに梅雨明けする地域が多く、昨年と同様に暑い時期が平年より早く始まりそうです。なお、西日本と東日本では、残暑が厳しくなる見込みです。運動をする場合などは水分補給などの暑さ対策をしっかり行い、熱中症には十分ご注意ください。最新見解は、「ウェザーニューズ」アプリやウェブサイトからご確認いただけます。

最新見解はこちら「ウェザーニューズ」ウェブサイト

<https://weathernews.jp/s/>

◆夏の気温は北日本から西日本で平年より高い

7月になると、太平洋高気圧が本州付近への張り出しを次第に強め、7月中旬には、本州付近に停滞している梅雨前線が日本海から東北付近まで北上する見込みです。このため、今年は7月中旬までに西日本から東日本まで梅雨明けするところが多く、昨年と同様に暑い時期が平年よりも早く始まりそうです。

今夏(7～9月)の平均気温は、北日本から西日本は平年より高く、沖縄は平年並か高くなる見込みで、全国的に暑い夏になりそうです。

7月は西日本から北日本にかけて平年より高く、暑さの厳しい日もあるでしょう。沖縄は平年並となりそうです。8月は全国的に平年より高く、後半は残暑が厳しくなりそうです。9月も全国的に高温傾向が続き、お彼岸の頃までは残暑が厳しくなりそうです。

なお、昨年の8月中旬から下旬は、前線の活動が非常に活発となった影響で、西日本から東日本の広い範囲で大雨となり、気温が平年より低くなる日がありました。今夏も昨年ほどではないものの、西日本から東日本で湿った空気が流れ込むため雲が広がりやすくなったり、にわか雨や雷雨が起こりやすくなったりする影響で、暑さが和らぐ時期がある見込みです。

◆暑さのピークは7月後半と8月後半、ダブル高気圧で猛暑に

7月後半と8月後半は日本の上空で高気圧の勢力が強まり、暑さのピークとなる予想です。7月後半は西日本から北日本にかけて、8月後半は全国的に、暑さが厳しくなりそうです。



図1:夏の気温傾向

この暑さの鍵となるのが、太平洋高気圧とチベット高気圧です。太平洋高気圧とチベット高気圧は広がる高度が違うため、チベット高気圧が日本付近まで張り出すと、太平洋高気圧と上空で重なり合って“ダブル高気圧”となり、二つの高気圧が非常に背の高い一つの高気圧のようになって厳しい暑さをもたらします。35 度以上の猛暑日が続いたり、フェーン現象が起こりやすい場所では 40 度前後の酷暑になることもあります。

(1) 太平洋高気圧: 7 月以降日本付近への張り出しが強まる

7 月以降、フィリピンの北東海上で対流活動が活発になり、日本～日本の東海上で下降流が強まり、太平洋高気圧の勢力が強まります。また、今夏は平年よりも早めに北への張り出しを強め、西日本から北日本は暖気が入りやすくなり、気温が高くなる見込みです。

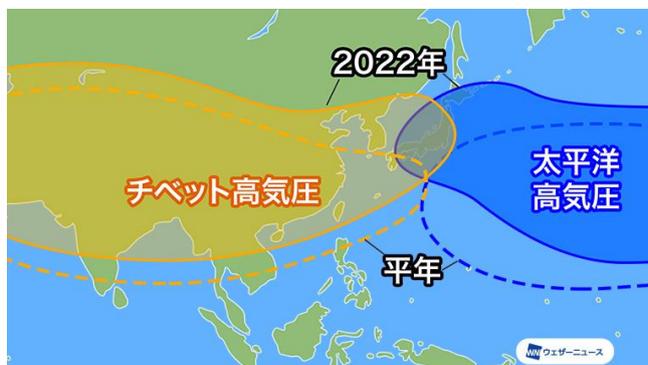


図 2: 今年の猛暑ピーク時の天気図イメージ

(2) チベット高気圧: 7～8 月に日本付近への張り出しが強まる時期がある

チベット高気圧とは、北半球の夏季にチベット付近を中心に広範囲に広がる上空の高気圧です。今夏は、日本付近で太平洋高気圧の勢力が強まる 7 月から 8 月に、チベット高気圧も日本付近に張り出しを強める時期がある見込みです。

これらの太平洋高気圧とチベット高気圧の張り出しが重なったタイミングで猛暑となる予想です。その後、9 月にかけても日本付近には南から暖かな空気が流れ込みやすく、秋のお彼岸の頃までは残暑が厳しくなる見込みです。

※本予報は 6 月 17 日時点のものです。最新の見解は「ウェザーニュース」アプリまたはウェブサイト (<https://weathernews.jp/s/>) からご確認ください。

◆エリアごとの見解

エリア	7～9 月の気温 (平年との比較)	7～9 月の暑さ見解
北日本	平年より高い	<p>7 月: 気温は平年より高い予想です。北海道は曇りや雨の日が多くなる予想ですが、月末からは晴れて暑さが厳しくなりそうです。東北は月の後半、南部から北部へと次第に夏空が広がるようになります。梅雨明け後は安定した晴れの天気と暑さがしばらく続きます。</p> <p>8 月: 気温は平年より高い予想です。高気圧に覆われて晴れる日が多いでしょう。東北では湿った空気の影響で、にわか雨や雷雨の発生しやすい時期がある見込みです。</p> <p>9 月: 気温は平年より高い予想です。上旬は晴れて暑い日が多いでしょう。中旬以降は天気が周期変化するようになります。北日本は暖気に覆われやすく、季節の進行が平年より遅れる見込みです。また、台風や前線の影響を受けて蒸し暑くなる日もあるため、体調管理にご注意ください。</p>

東日本	平年より高い	<p>7月: 気温は平年より高い予想です。梅雨明け後、夏空が広がって暑さの厳しい日が多くなります。まだ身体が暑さに慣れていないため、暑さ対策をしっかりと行ってください。</p> <p>8月: 気温は平年より高い予想です。晴れて暑くなる日が多い中、にわか雨や雷雨の発生で暑さが和らぐ日もあり、お盆シーズンは熱中症や天気の変化に注意が必要です。</p> <p>9月: 気温は平年より高く、秋のお彼岸の頃までは残暑が厳しくなります。また、台風や秋雨前線の影響で蒸し暑くなる日もあるため、体調管理にご注意ください。</p>
西日本	平年より高い	<p>7月: 気温は平年より高い予想です。梅雨明け後、夏空が広がって暑さの厳しい日が多くなります。まだ身体が暑さに慣れていないため、暑さ対策をしっかりと行ってください。</p> <p>8月: 気温は平年より高い予想です。晴れて厳しい暑さとなる時期と、太平洋側を中心ににわか雨や雷雨が発生しやすい時期があり、お盆シーズンは熱中症や天気の変化に注意が必要です。</p> <p>9月: 気温は平年より高く、秋のお彼岸の頃までは残暑が厳しくなります。また、台風や秋雨前線の影響で蒸し暑くなる日もあるため、体調管理にご注意ください。</p>
沖縄	平年並～平年より高い	<p>7月: 気温は平年並の予想です。前半は太平洋高気圧に覆われて晴れる日が多いですが、後半はぐずつき時期があり、台風の影響を受ける可能性もあります。</p> <p>8月: 気温は平年より高い予想です。強い日差しが照りつけ暑い時期と、湿った空気の影響で天気がぐずつき、蒸し暑くなる時期がありそうです。夜間も気温が下がりにくく、寝苦しい日も続きます。こまめに水分を補給するなど熱中症対策をしっかりと行ってください。</p> <p>9月: 気温は平年より高い予想です。晴れの日が続く中、台風や湿った空気の影響で曇りや雨となる日もあり、蒸し暑い日が多くなりそうです。</p>

※本見解の対象期間は7～9月としています。